

少子化・子育てに関する県民意識調査

報告書《速報》（抜粋版）

令和元年7月

福 島 県

I 調査概要

I 調査概要

1. 調査の目的

「ふくしま新生子ども夢プラン」次期計画（次世代育成支援対策推進法第9条第1項の規定に基づく県行動計画）の策定に当たり、子育て環境の実態や少子化の現状及び県民意識・ニーズなどを把握し、その要因等を分析することを目的に本調査を実施した。

2. 調査内容

子育て環境の整備や少子化対策に係る県民ニーズ等を把握するため、結婚・出産・子育てなどに関するアンケート調査を実施した。

共通項目 ※問1～問26
1. あなたとあなたのご家族について (回答者の性別、回答者の年齢、居住地域、結婚の有無、結婚した年齢、子どもの有無、子ども的人数、親との同居状況、家族構成、就労状況、住居形態、住環境、経済的な生活状況)
2. あなたの結婚や子どもに対する考えについて (結婚についてのメリット、結婚についてのデメリット、理想的な子ども的人数、実際の子どもの人数、理想的な人数の子どもを持たない理由)
3. あなたの結婚や子育てに関する環境について (施設・制度の利用状況、子育て環境の整備や少子化対策で期待すること、子育て支援活動への参加希望、震災による子どもへの影響で心配なこと、児童虐待について知っていること、子どもの貧困対策のため充実が必要なこと)
個別項目 (子どもがいる方) ※問28～問41
1. あなたの子育てに関する考えについて (子どもがいてよかったと思うこと、子どもがいて負担に思うこと、家事・子育てにかかる時間、親との同居してよかったと思うこと、子育てや子育て支援情報の入手先、仕事と子育て両立のため理想の帰宅時間、子育てについての相談先、子育てについての困りごと、子育てするうえで近所・地域の人たちにしてほしいこと)
2. 子育てに関する環境について (子育てするうえで重要な住宅要素、子育てするうえで重要な住環境、乳児を連れて外出する時の不安や困りごと、出産後の就職状況)
個別項目 (未婚で子どもがいない方) ※問42～問47
1. あなたご自身のことについて (親と同居している理由、将来への不安)
2. あなたの結婚に対する考えについて (結婚に対する考え、結婚相手を探すためにしていること、結婚後の生活変化についての考え、現在独身でいる理由)

3. 調査対象及び調査方法

対象	福島県内市町村に住民票がある ① 子どもがいない方（18歳未満の子どもがいない20～60歳未満の方） ② 子どもがいる方（未就学児童、小学生、中学生以上の保護者の方）																								
標本数	① 3,000人 ② 6,000人（各2,000人） 合計9,000人																								
標本抽出	住民基本台帳より無作為抽出																								
調査方法	郵送配布・郵送回収 ※一部の市町村においては、保育所、小・中学校などの施設を通じて配布																								
調査期間	令和元年5月16日（木）～令和元年6月5日（水） ※令和元年6月10日到着分までを集計対象とした。																								
回収結果	<p>回収数： 2,489件 無効数： 3件 有効回収数：2,486件 有効回収率： 27.6%</p> <p>有効回収数（男女別） (件)</p> <table border="1"> <tr> <td>男性</td> <td>779</td> <td>女性</td> <td>1,702</td> <td>不明</td> <td>5</td> </tr> </table> <p>有効回収数（地域別） (件)</p> <table border="1"> <tr> <td>県北</td> <td>581</td> <td>会津</td> <td>341</td> <td>いわき</td> <td>468</td> </tr> <tr> <td>県中</td> <td>664</td> <td>南会津</td> <td>59</td> <td>その他県外</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>県南</td> <td>217</td> <td>相双</td> <td>143</td> <td>不明</td> <td>3</td> </tr> </table>	男性	779	女性	1,702	不明	5	県北	581	会津	341	いわき	468	県中	664	南会津	59	その他県外	10	県南	217	相双	143	不明	3
男性	779	女性	1,702	不明	5																				
県北	581	会津	341	いわき	468																				
県中	664	南会津	59	その他県外	10																				
県南	217	相双	143	不明	3																				

4. 報告書の見方

- ①グラフ・表中の「n (number of cases)」はアンケートの有効回収数を示している。
- ②割合はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、合計が100.0%にならない場合もある。
- ③複数回答の場合、回答の合計割合が100.0%を超える場合がある。
- ④グラフ・表として示したもののうち、無回答の回答数が0の場合は「無回答」の表示を省略している場合がある。また、問文・選択肢の文章を、意味が変わらない程度に簡略化している場合がある。
- ⑤各設問において回答のなかった選択肢については、図表内で「-」と表記している場合がある。また、回答の構成比について、回答者が少なく小数点第2位を四捨五入した際に0.1%未満となる値は「0.0」と表記している場合がある。

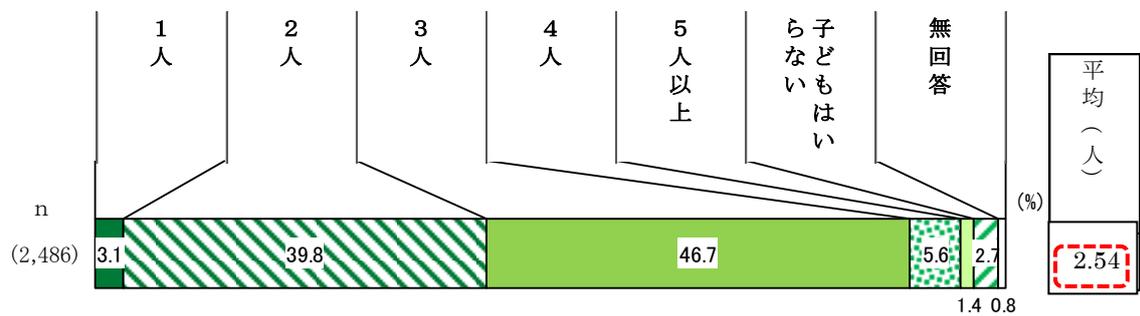
Ⅱ 調査結果（抜粋）

※ ◆…平成25年度に実施した「震災を踏まえた子育て環境に関する調査研究」と比較する意味で記載している。ただし、設問や選択肢が全く同一のものではないものも含まれている。

1. あなたの結婚や子どもに対する考え方について

(1) 理想的な子どもの人数

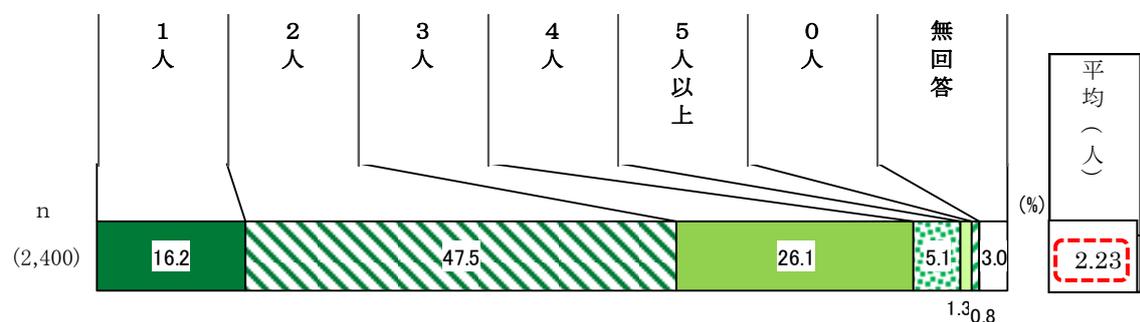
問18 あなたにとって、理想的な子どもの人数は何人ですか。1つだけ○をつけてください。（5.の「5人以上」に○をつけた方は、その具体的な人数も記入してください。）



● 理想的な子どもの人数については、「3人」が46.7%と最も多く、以下、「2人」(39.8%)、「4人」(5.6%)、「1人」(3.1%)などで、平均人数は2.54人となっている。

(2) 実際の子どもの人数

問19 問18で1.～5.を選んだ方にお聞きします。あなたは、実際には何人の子どもの（現在いる子どもを含めて）を持つ予定ですか。1つだけ○をつけてください。（5.の「5人以上」に○をつけた方は、その具体的な人数も記入してください。）



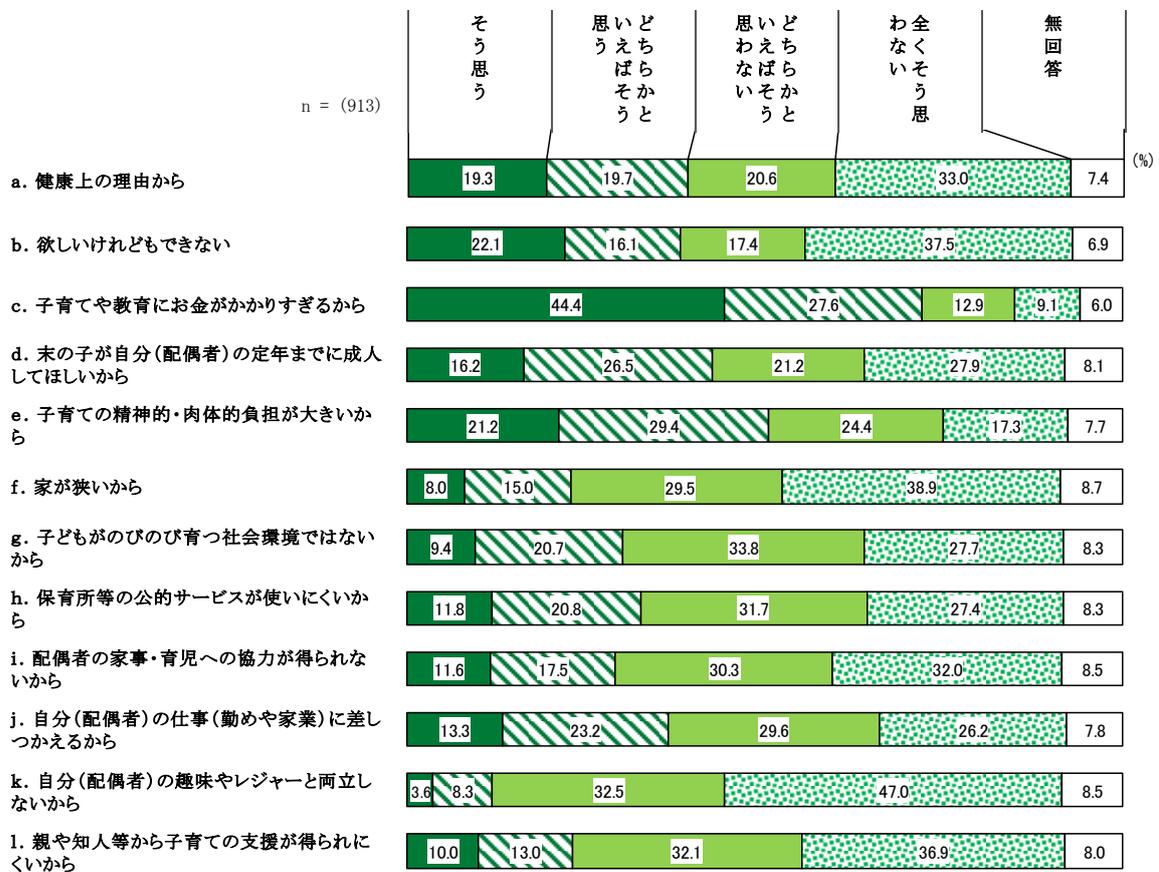
● 実際の子どもの予定人数については、「2人」が47.5%と最も多く、以下、「3人」(26.1%)、「1人」(16.2%)、「4人」(5.1%)などとなっている。平均人数は2.23人となっており、理想的な子どもの平均人数より0.31人下回っている。

II 調査結果（抜粋）

（3）理想的な人数の子どもを持ってない理由 ※実際の子どもの数が理想より少ない方

問20 理想的な人数の子どもを持ってない理由についてお聞かせください。

（下のa～lのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。）

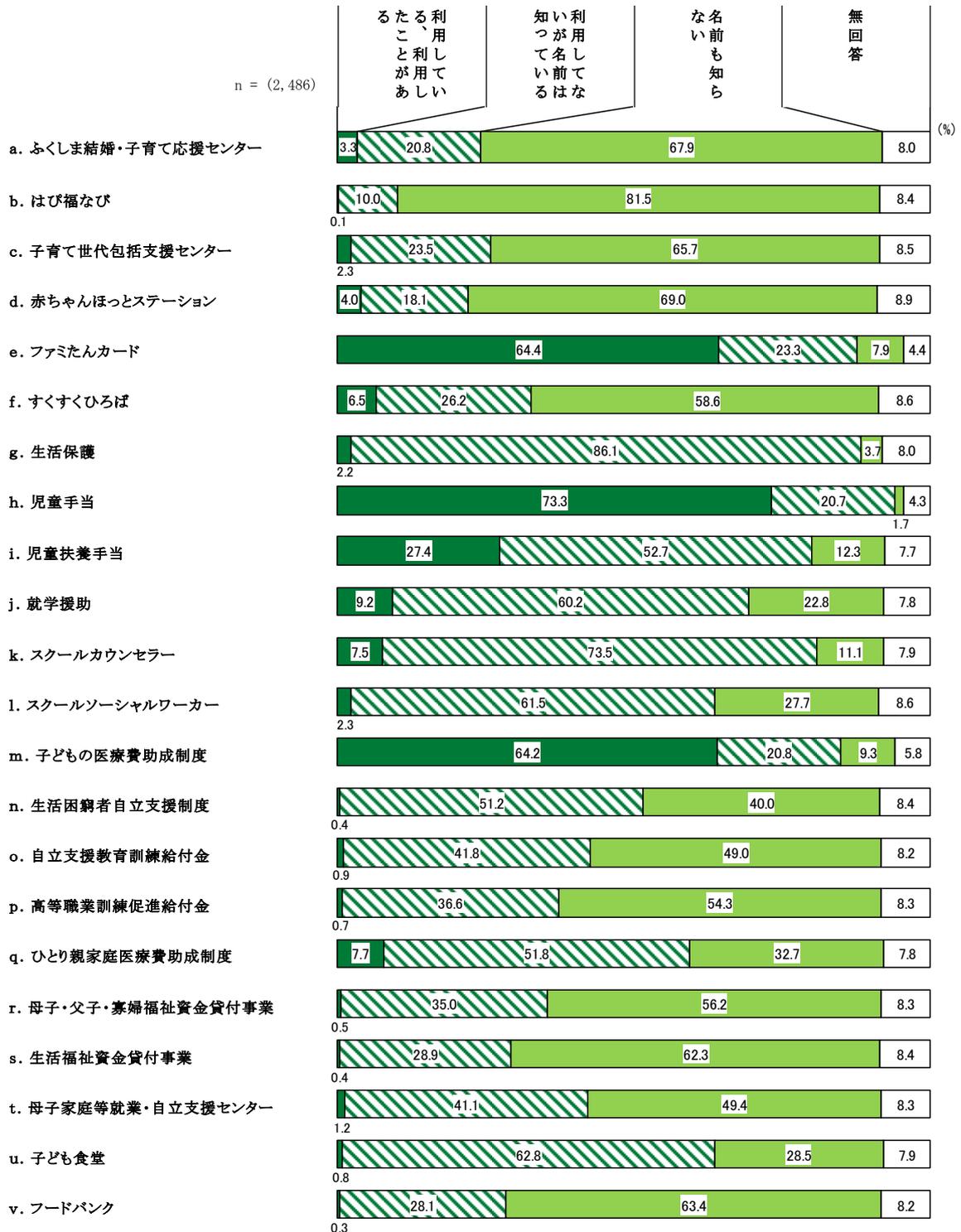


- 理想的な人数の子どもを持ってない理由について、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』が多い項目は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」（72.0%）、「子育ての精神的・肉体的負担が大きいから」（50.6%）の2項目で、特に「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の項目では約7割が『そう思う』と回答している。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない』が多い項目は、「家が狭いから」（68.4%）、「自分（配偶者）の趣味やレジャーと両立しないから」（79.5%）、「親や知人等から子育ての支援が得られにくいから」（69.0%）の3項目で、特に「自分（配偶者）の趣味やレジャーと両立しないから」の項目では約8割が『そう思わない』と回答している。

2. あなたの結婚や子育てに関する環境について

(1) 施設・制度の利用状況

問21 次のa～vであなたは次の施策を利用した（または支援を受けた）ことがありますか。（下のa～vのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。）
 ※取組の詳細は最終ページの別紙一覧を参照してください。



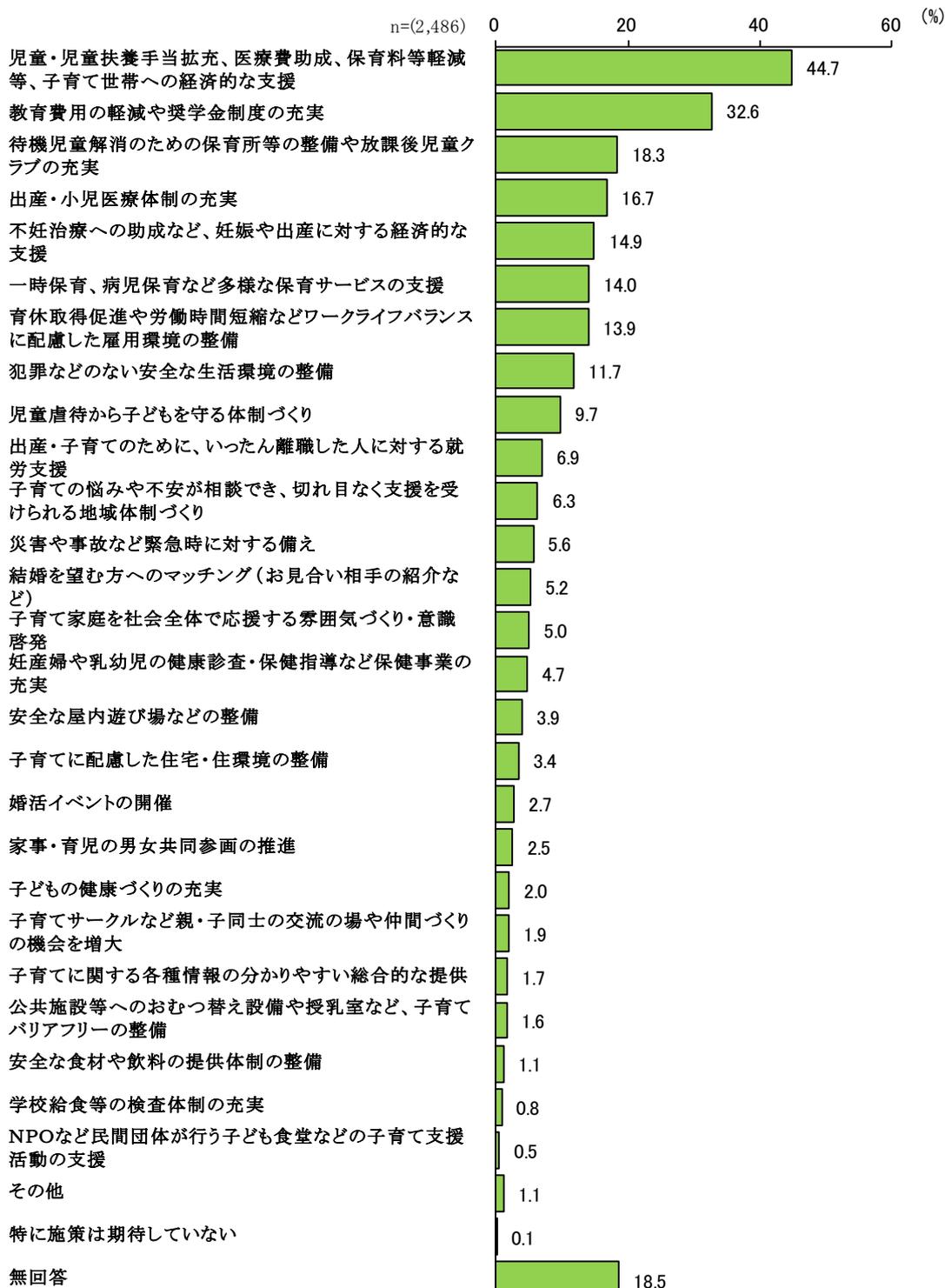
Ⅱ 調査結果（抜粋）

- 施設・制度利用について、「利用している、利用したことがある」が多いのは、「児童手当」（73.3%）、「ファミたんカード」（64.4%）、「子どもの医療費助成制度」（64.2%）の3項目で、特に「児童手当」は7割以上となっている。
- 「利用している、利用したことがある」と「利用していないが名前は知っている」を合わせた『知っている』が多い認知度が高い項目は、「児童手当」（94.0%）、「生活保護」（88.3%）、「ファミたんカード」（87.7%）、「子どもの医療費助成制度」（85.0%）、「スクールカウンセラー」（81.0%）、「児童扶養手当」（80.1%）の6項目で8割以上となっている。
- 「名前も知らない」が多い認知度が低い項目は、「はぴ福なび」（81.5%）、「赤ちゃんほっとステーション」（69.0%）、「ふくしま結婚・子育て応援センター」（67.9%）、「子育て世代包括支援センター」（65.7%）、「フードバンク」（63.4%）、「生活福祉資金貸付事業」（62.3%）、「すくすくひろば」（58.6%）、「母子・父子・寡婦福祉資金貸付事業」（56.2%）、「高等職業訓練促進給付金」（54.3%）の9項目となっている。

(2) 子育て環境の整備や少子化対策で期待すること

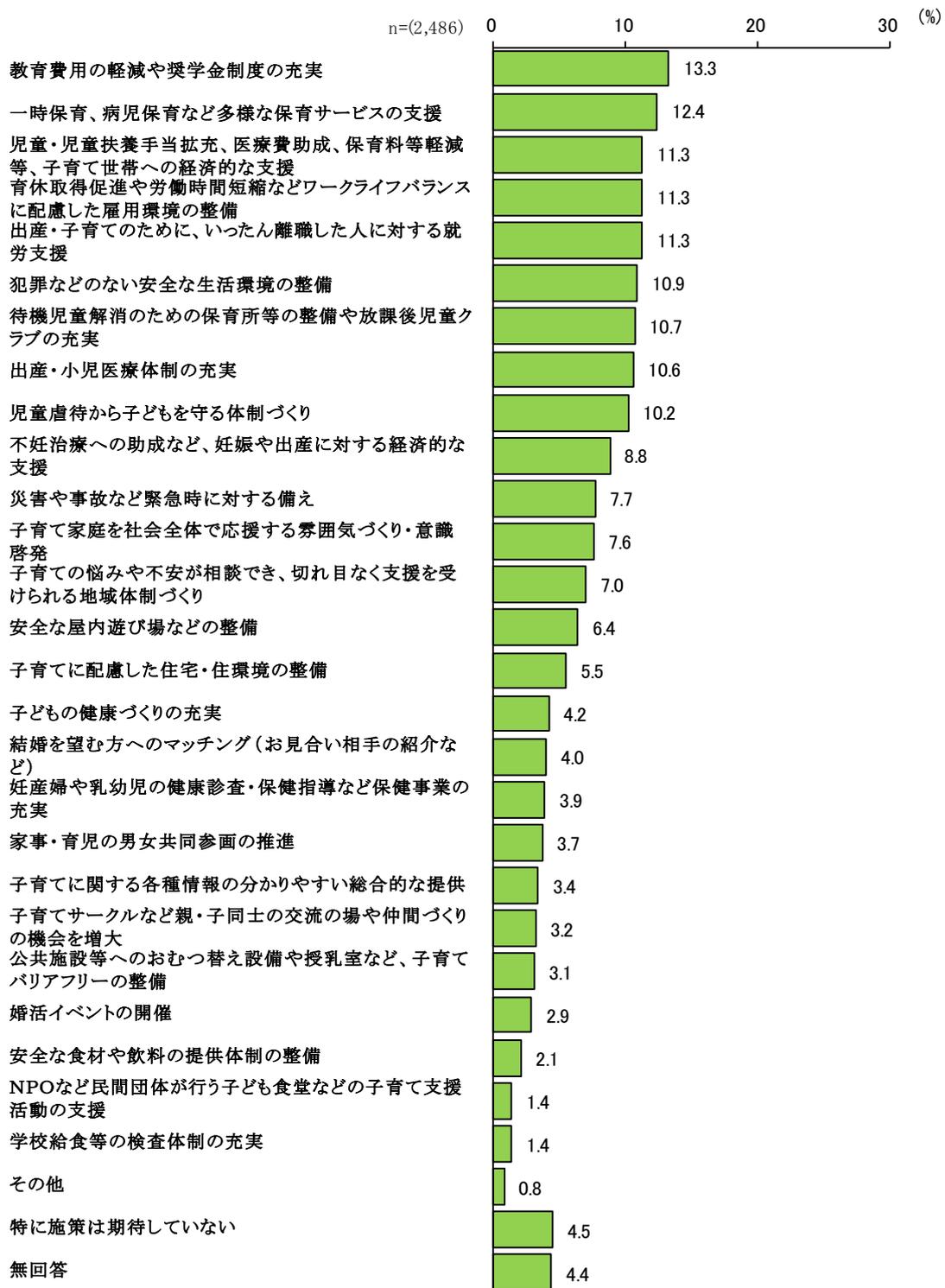
問22 子育て環境の整備や少子化対策について、国・県・市町村にどのような施策を期待しますか。（特に重要と思うものの番号に3つ◎を、次に期待するものの番号に2つ○をつけてください。ただし、「28. 特に施策は期待していない」を選んだ方は他に○をつけないでください。）

【特に重要と思うもの】



II 調査結果（抜粋）

【次に期待するもの】



Ⅱ 調査結果（抜粋）

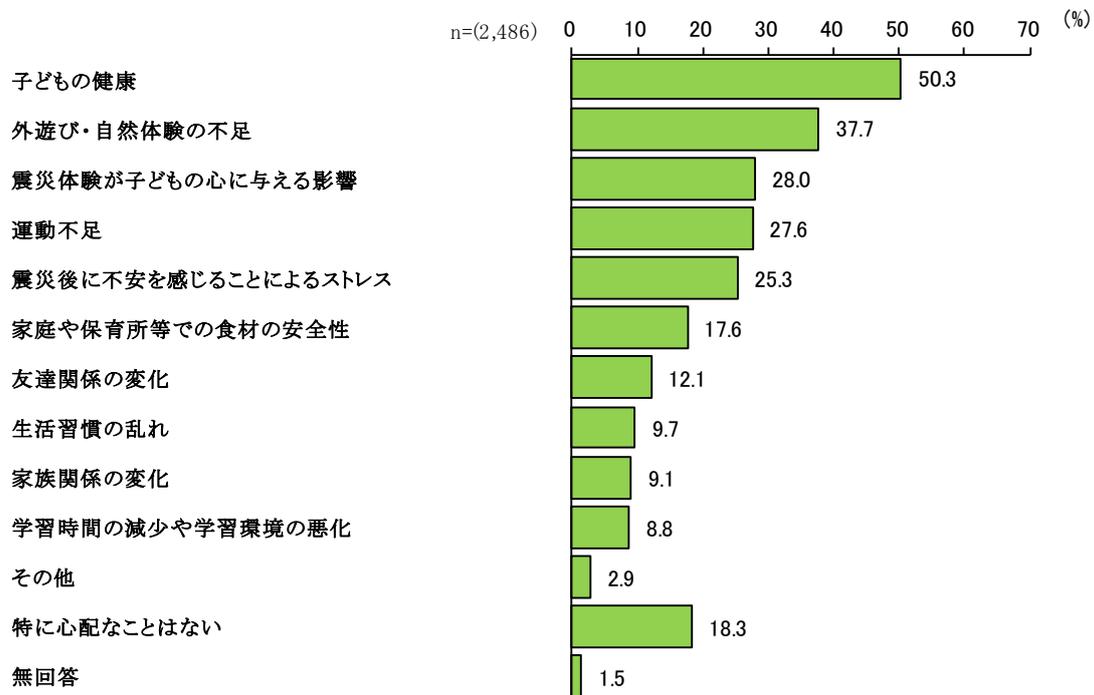
- 行政に期待することの項目の中で、【特に重要と思うもの】については、「児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援」が44.7%と最も多く、以下、「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」（32.6%）、「待機児童解消のための保育所等の整備や放課後児童クラブの充実」（18.3%）、「出産・小児医療体制の充実」（16.7%）、「不妊治療への助成など、妊娠や出産に対する経済的な支援」（14.9%）、「一時保育、病児保育など多様な保育サービスの支援」（14.0%）などとなっており、経済的負担軽減の2項目が上位1、2位となっている。
- 【次に期待するもの】については、「教育費用の軽減や奨学金制度の充実」が13.3%と最も多く、以下、「一時保育、病児保育など多様な保育サービスの支援」（12.4%）、「児童・児童扶養手当拡充、医療費助成、保育料等軽減等、子育て世帯への経済的な支援」「育児休業取得促進や労働時間の短縮などワークライフバランスに配慮した雇用環境の整備」「出産・子育てのために、いったん離職した人に対する就労支援」（いずれも11.3%）、「犯罪などのない安全な生活環境の整備」（10.9%）などとなっており、上位1、3位となった教育費、児童手当等の経済的支援については、「特に重要と思うもの」でも上位項目となっていることから、特に行政に期待が高いことがうかがえる。
- ◆ 前回調査においては、「保育や教育にかかる費用負担の軽減」が73.9%と最も多く、以下、「さまざまな場面で活用できる預かり事業」（64.0%）、「学童保育など放課後に小学生を預かる制度」（46.5%）、「母親に対する就労支援事業」（39.7%）などとなっており、経済的支援については、引き続き、行政に期待が高いことがうかがえる。

II 調査結果（抜粋）

（3）震災による子どもへの影響で心配なこと

問24 震災による子どもへの影響として、心配なことがありますか。

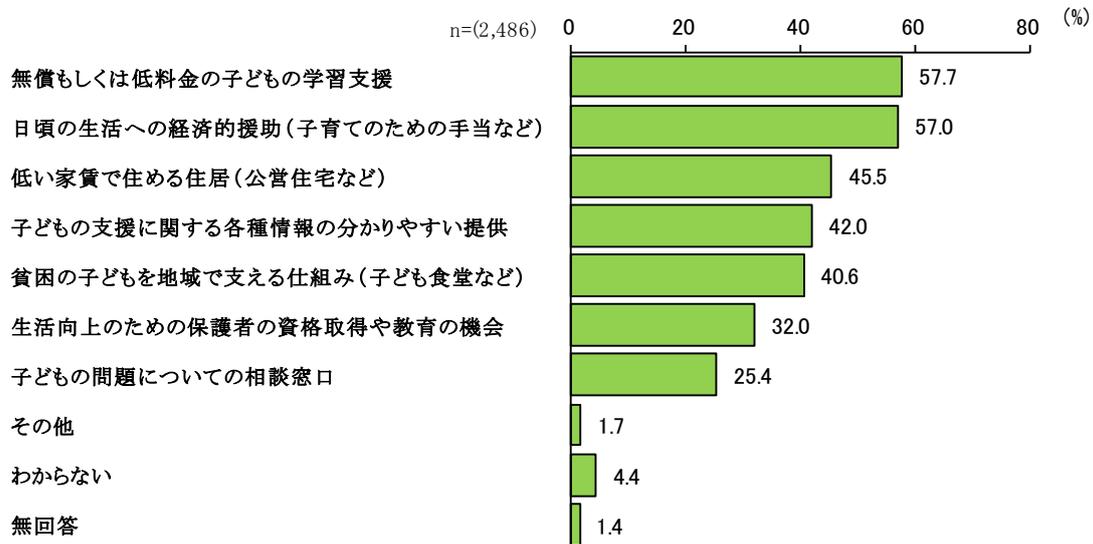
（あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「12. 特に心配なことはない」を選んだ方は他に○をつけないでください。）



- 震災による子どもへの影響で心配なことについては、「子どもの健康」が50.3%と最も多く、以下、「外遊び・自然体験の不足」（37.7%）、「震災体験が子どもの心に与える影響」（28.0%）、「運動不足」（27.6%）などとなっている。
- ◆ 前回調査においては、「放射線による健康被害」が61.7%と最も多く、以下、「外遊び・自然体験の不足」（57.9%）、「運動不足」（35.3%）、「震災体験が子どもの心に与える影響」（29.1%）などとなっており、引き続き、「子どもの健康」にかかる心配が多くなっている。また、「震災体験が子どもの心に与える影響」は、前回調査から微減に留まっている。

（４）子どもの貧困対策のため充実が必要なこと

問26 あなたが、子どもの貧困対策のため充実が必要と思うことはどのようなことですか。
 （あてはまる番号のすべてに○をつけてください。）



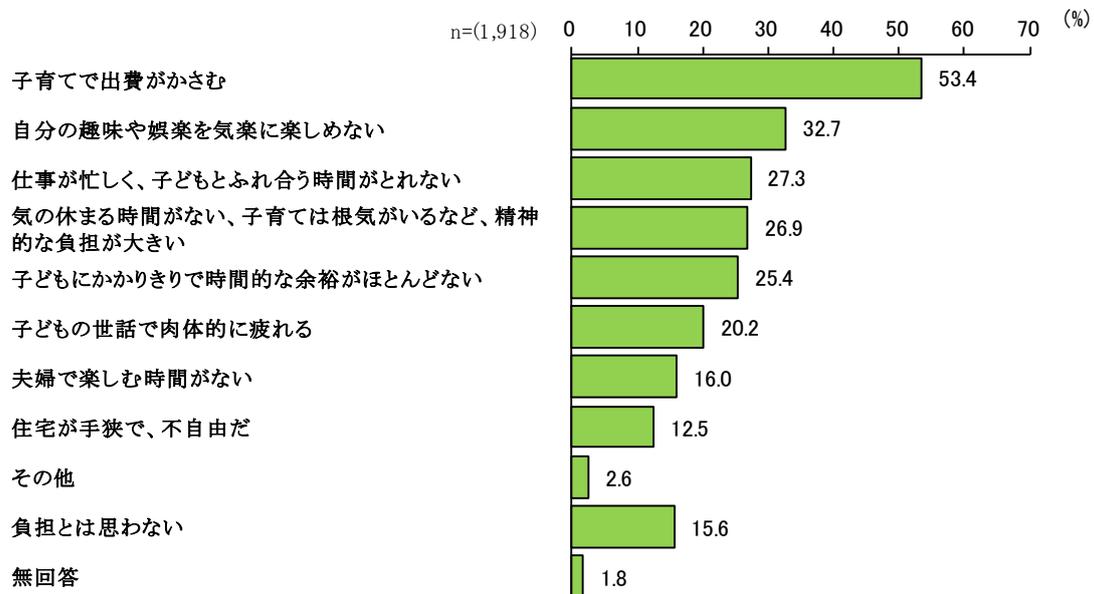
子どもの貧困対策のため充実が必要なことについては、「無償もしくは低料金の子どもの学習支援」（57.7％）と「日頃の生活への経済的援助（子育てのための手当など）」（57.0％）が約6割と多く、以下、「低い家賃で住める住居（公営住宅など）」（45.5％）、「子どもの支援に関する各種情報の分かりやすい提供」（42.0％）などとなっている。

3. あなたの子育てに関する考えについて ※子どもがいる方

(1) 子どもがいて負担に思うこと

問29 あなたは、子どもがいて負担に思うことはどのようなことですか。

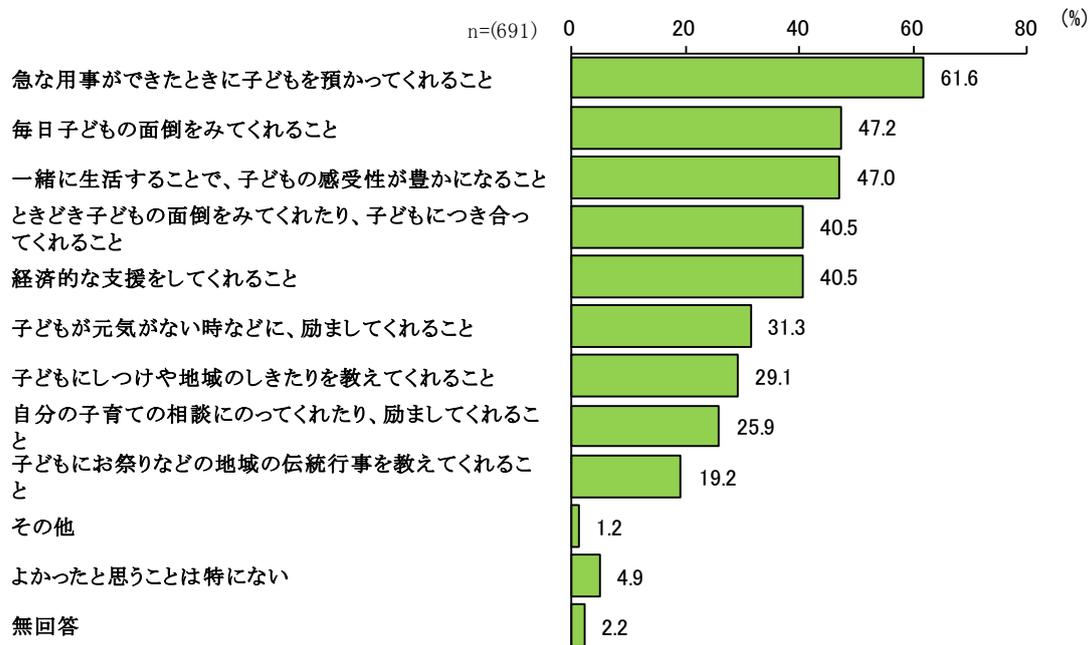
（あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「負担とは思わない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。）



子どもがいて負担に思うことについては、「子育てで出費がかさむ」が53.4%と最も多く、以下、「自分の趣味や娯楽を気楽に楽しめない」（32.7%）、「仕事が忙しく、子どもとふれ合う時間がとれない」（27.3%）、「気の休まる時間がない、子育ては根気がいるなど、精神的な負担が大きい」（26.9%）、「子どもにかかりきりで時間的な余裕がほとんどない」（25.4%）などとなっている。

（２）親と同居して良かったと思うこと

問32 あなたは、子育てするうえで、親と同居して良かったと思うことはどんなことですか。（あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「11. よかったと思うことは特にない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。）



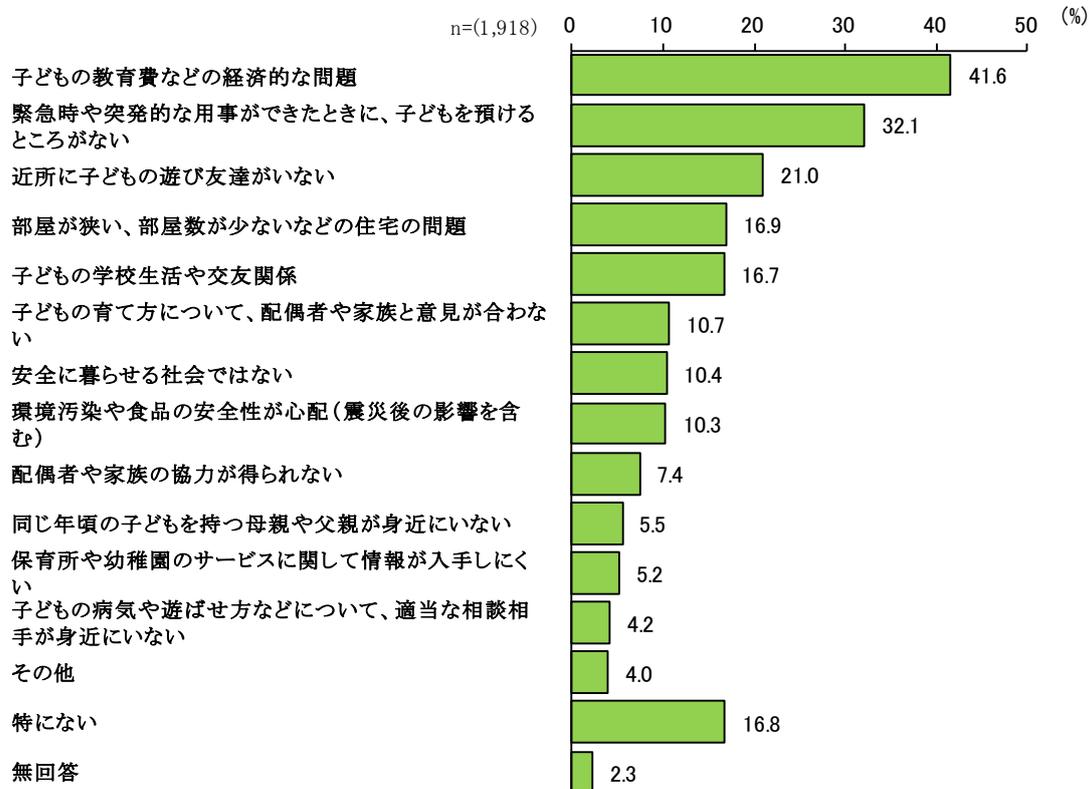
- 親と同居して良かったと思うことについては、「急な用事ができたときに子どもを預かってくれること」が61.6%と最も多く、以下、「毎日子どもの面倒をみてくれること」(47.2%)、「一緒に生活することで、子どもの感受性が豊かになること」(47.0%)、「ときどき子どもの面倒をみてくれたり、子どもにつき合ってくれること」(40.5%)、「経済的な支援をしてくれること」(40.5%) などとなっている。

Ⅱ 調査結果（抜粋）

（3）子育てに関する困りごと

問36 子育てに関することで、困ると感じたことはどのようなことですか。

（あてはまる番号のすべてに○をつけてください。ただし、「14. 特にない」を選んだ方は他に○をつけしないでください。）

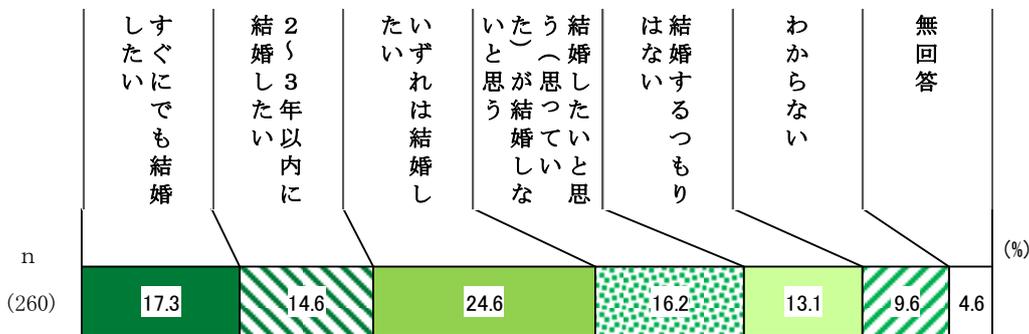


- 子育てに関する困りごとについては、「子どもの教育費などの経済的な問題」が41.6%と最も多く、以下、「緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けるところがない」（32.1%）、「近所に子どもの遊び友達がいない」（21.0%）、「部屋が狭い、部屋数が少ないなどの住宅の問題」（16.9%）、「子どもの学校生活や交友関係」（16.7%）などとなっている。
- ◆ 前回調査においては、「子育てや教育などにかかる経済的な問題」が39.4%と最も多く、以下、「環境汚染や食品の安全性への心配」（36.2%）、「緊急時に突発的な用事ができたときに、子どもを預けるところがない」（30.0%）などとなっており、経済的な問題が、引き続き、最も多い困りごととなっている。

4. あなたの結婚に対する考え方について ※未婚で子どもがいない方

(1) 結婚に対する考え

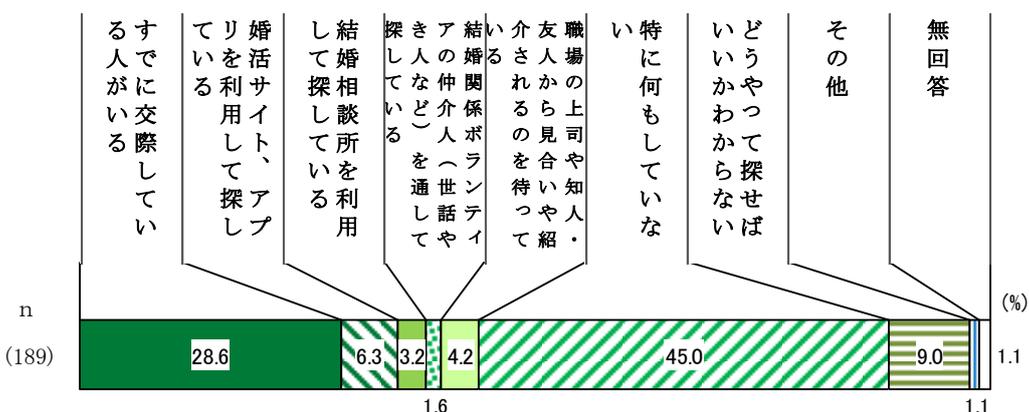
問44 一生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちいずれにもっとも近いですか。（1つだけ○をつけてください。）



- 結婚に対する考え方については、「いずれは結婚したい」が24.6%と最も多く、以下、「すぐにも結婚したい」(17.3%)、「結婚したいと思う(思っていた)が結婚しないと思う」(16.2%)、「2〜3年以内に結婚したい」(14.6%)となっており、『結婚したい』人は72.7%となっている。
- 「結婚するつもりはない」は13.1%となっており、「わからない」は9.6%となっている。

(2) 結婚相手を探すためにしていること ※結婚したい方

問45 あなたは、結婚相手を探すためにどのようなことをしていますか(していましたか)。(最もあてはまると思われる番号1つだけ○をつけてください。)



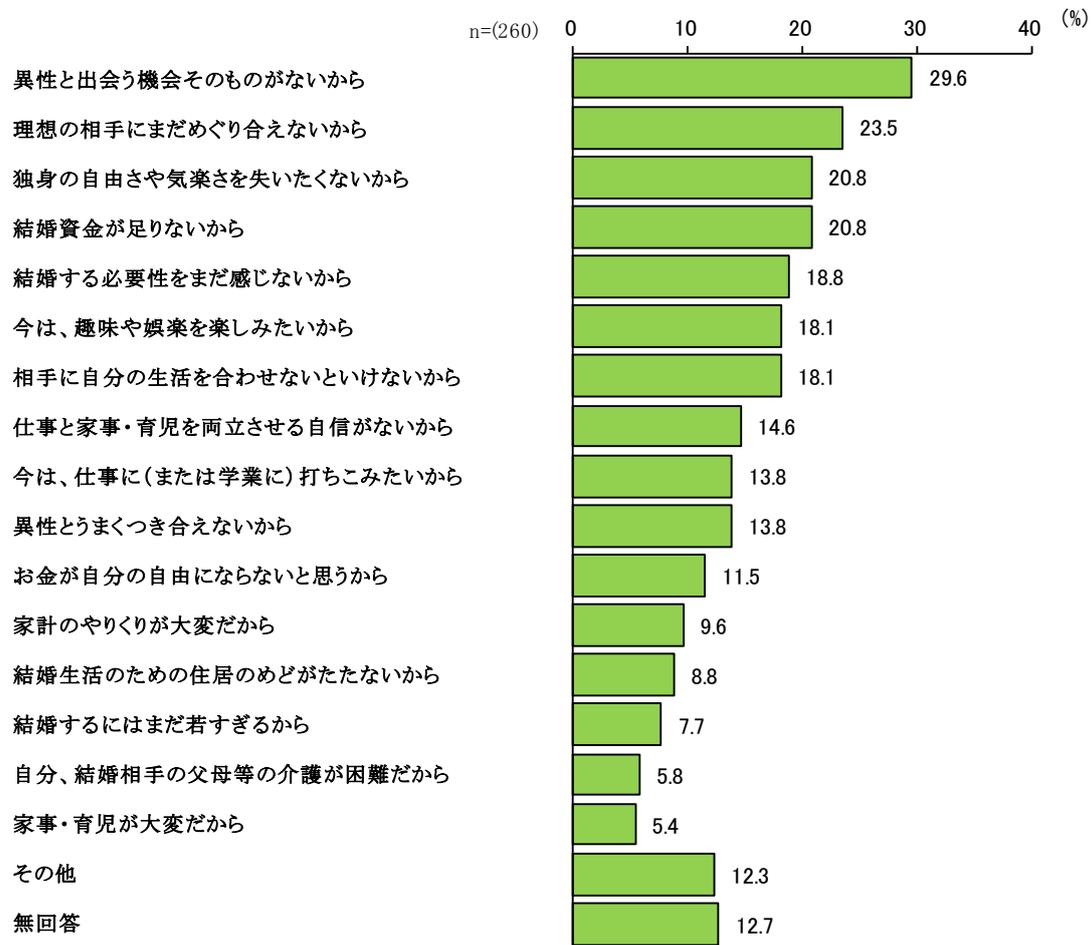
- 結婚相手を探すためにしていることについては、「特になし」が45.0%と最も多く、「すでに交際している人がいる」も28.6%と多くなっている。
- 婚活サイトや紹介など何らかの手段で『探している』人は15.3%、「どうやって探せばいいかわからない」は9.0%となっている。

Ⅱ 調査結果（抜粋）

（3）現在独身でいる理由

問47 あなたが現在独身でいる理由は、次のうちどれですか。

（ご自分の気持ちにあてはまると思われる番号すべてに○をつけてください。）



- 現在独身でいる理由については、「異性と出会う機会そのものがないから」が29.6%と最も多く、以下、「理想の相手にまだめぐり合えないから」（23.5%）、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」（20.8%）、「結婚資金が足りないから」（20.8%）、「結婚する必要性をまだ感じないから」（18.8%）などとなっている。